

11/22

Fri

学校型 辰野町立辰野西小学校

共同研究者 宮野 尚  
(信州大学 助教)

## 生き生きと自ら考えを伝え合う認め合う子ども

～教師の主体性が子どもの主体性につながる研究推進から～

子どもの主体性と教師の主体性がつながる・影響し合うとは!?

本校では個人研究を中心とした研究推進を4年間積み重ねてきました。昨年度の研究で見られた子どもたちの主体的な姿や研究推進に励む教師の姿から、今年度は教師の主体性と子どもの主体性のつながりを大切に研究推進に取り組んできています。本全県大会についても、先生方の自発的な授業公開や研究授業への参加を大切にされた結果、6名もの先生が立候補し、このたび同時公開の授業公開・研究会となる運びとなりました。

事前研究会を6月に実施しました。共同研究者の宮野先生をお招きし、実際の子どもの姿から、研究推進のあり方について、検討しました。

### 【事前研究会で話題になったこと】

(1) 授業で見られた子どもや教師の姿から考えられたこと

- ・「主体性」と言っても、「個人追究に入るとすぐに自分の考えを書き出す子たち、やる気に満ちていた(算数)」という、「存在論の次元『自分がどうありたいか』での主体性」と、「友達の考えを聞くことで自分の考えを確かめたり、自らの考えを再構築したりしていく姿があった(算数)」という「行動論の次元『自分から』での主体性」に整理できるのではないか。
- ・教師も子どもの主体性と同様に、「自分がどうありたいか」という存在論的な主体性と、「授業づくりや教材研究を通して、どのように子どもたちの学びをサポートしていくか」という行動論的な主体性が発揮されているのではないか。

(2) 研究推進に関わって

- ・「それぞれの教師が大事にしていることは?」「子どもの主体的な姿のイメージは?」といった具体的な姿(エピソードとして)や目指す教師の姿を共有することで、教師の主体性と子どもの主体性をつなげていくことができるのではないか?

全県大会当日に向けて、教師が子どもたちの「生き生きとした姿」を語り合う時間を設け、教師の「どうありたいか」という存在論的な主体性を引き出し合うことで、子どもたちの主体性を発揮させるための授業づくり・研究推進を行っていきたいと思います。当日は教師も子どもも「生き生き」と学ぶ姿、教師と子どもの主体性がつながる姿を感じていただきながら、参観される先生方の主体性も促していけたらと思います。



### 共同研究者 宮野先生から

教師主体から子ども主体の授業への転換が叫ばれる中で、子どもの主体性ばかりが強調され、教師の主体性は蔑ろにされてきた。辰野西小学校の挑戦は、そこに疑いの眼を向けて、改めて「教師主体の意味」を問う試みである。



### ～日程～

- ① 受付 13:10～13:30
- ② 開会行事 13:35～13:45
- ③ 研究説明 13:45～13:55
- ④ 授業参観 14:05～14:50
- ⑤ 授業者との懇談 15:00～15:30
- ⑥ ワークショップ・講演 15:30～16:30
- ⑦ 閉会行事 16:30～16:40

【公開予定授業学年・教科】

2年国語 4年体育 5年外国語 5年道徳  
6年算数 6年図工